

令和5年度

学 生 募 集 要 項 入 学 案 内 (出 願 書 類 添 付)



区分	WEB出願エントリー期間	出願書類受付期間	選抜期日	合格発表
推薦による 選抜	令和4年12月1日(木) ～令和5年1月11日(水)	令和5年1月4日(水) ～1月11日(水)	令和5年1月21日(土)	令和5年3月2日(木) (合格内定通知)1月26日(木)
学力検査に よる選抜	令和4年12月1日(木) ～令和5年1月20日(金)	令和5年1月16日(月) ～1月20日(金)	令和5年2月12日(日)	令和5年3月2日(木)
帰国生徒 特別選抜	令和4年12月1日(木) ～令和5年1月20日(金)	令和5年1月16日(月) ～1月20日(金) (出願資格照会期限 令和4年12月16日(金))	令和5年2月12日(日)	令和5年3月2日(木)

※帰国生徒特別選抜の募集要項は別刷りにしています。

独立行政法人国立高等専門学校機構
徳山工業高等専門学校

〒745-8585 山口県周南市学園台
電 話 (0834) 2 9 - 6 2 3 3 (学生課)
F A X (0834) 2 9 - 6 1 6 1 (学生課)

I. 選抜の基本方針

入学者選抜の基本方針（アドミッションポリシー）は、本校の学習・教育目標（世界に通用する実践力のある開発型技術者をめざす）を達成できる能力を持った学生を入学させることです。具体的には次のような人を求めています。

- ・ 数学と理科の基礎学力が身につけている人
- ・ 信頼される技術者を目指し、コミュニケーション能力の基礎を身につけている人
- ・ 勉学や課外活動などに意欲を持って取り組んでいる人
- ・ ものづくりが好きで、社会の発展に役立ちたいと考えている人

また、推薦による選抜においては、出身中学校長が責任を持って推薦した生徒に対して、調査書及び推薦書等の提出資料の内容に加え、作文（コミュニケーション能力の基礎として日本語による表現力、ものづくりが好きであるかを評価）、目的意識・意欲などに関する一般面接（コミュニケーション能力や意欲、ものづくりが好きで、信頼される技術者を目指しているか、社会の発展に役立ちたいと考えているかを評価）、各学科への適性に関する適性面接（数学や理科の基礎学力を評価）の結果を総合的に評価し、本校への適性を有すると判断した人を選抜します。学力検査による選抜においては、本校の教育を受けるのに必要な素養と基礎学力を有した者を選抜するため、学力検査の結果と調査書の内容を総合的に評価します。学力検査は筆記試験で、国語、英語、数学、理科、社会の5教科です。なお、数学と理科の基礎学力が身につけているかを評価するため、他の教科に比べ、数学を2倍、理科を1.5倍に換算します。また、他の教科と調査書は主に十分なコミュニケーション能力の基礎を身につけているかを評価します。

II. 募集人員

学科名	募集人員	備考
機械電気工学科	40名	各学科とも、募集人員のうち20名程度は、推薦によるものとします。
情報電子工学科	40名	
土木建築工学科	40名	
計	120名	

III. 選抜の方法

入学者の選抜は、「推薦による選抜」と「学力検査による選抜」の二つの方法で行います。

また、「推薦による選抜」を希望する者は、「学力検査による選抜」を併願することができます。

なお、「推薦による選抜」と「学力検査による選抜」において、特定の感染症に罹患、又は罹患している疑いがある者等を対象として追試験を実施します。詳細は10頁を参照してください。

区分	選抜方法
推薦による選抜	「一般推薦」による選抜のみ行います。(※) 「一般推薦」は、学校長から提出された推薦書、調査書、並びに一般面接、適性面接及び作文の結果を総合して行います。 (※) 令和5年度入学者選抜では、令和2年度に各種スポーツ・文化関係の行事や大会が行われなかったことを鑑み、「特別活動推薦」による選抜は行いません。
学力検査による選抜	学力検査の成績及び学校長から提出された調査書を総合して行います。学力検査は、国語、社会、数学、理科及び英語の5教科で、各教科100点、計500点満点で採点したものを、数学を2倍、理科を1.5倍に換算し、合計650点満点とします。学力検査の解答はマークシート方式です。HB黒鉛筆でのみ記入してください。

1. 「推薦による選抜」の適性面接

数学や理科に関連する基礎的なことがらについて、基本的な理解や論理的な考え方ができるかどうかを問います。

2. 「推薦による選抜」の作文

与えられたテーマについて、自分の意見を600字以内にまとめてもらいます。テーマは、アドミッションポリシーに沿ったものです。

IV. 出願資格

1. 推薦による選抜

1. 一般推薦

一般推薦入学を志願することができる者は、次の条件のいずれにも該当し、学校長の推薦を得た者としてします。

- (1) 令和5年3月に、中学校を卒業見込みの者、義務教育学校を卒業見込みの者、中等教育学校の前期課程を修了見込みの者又は文部科学大臣が中学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了見込みの者
- (2) 中学校又は中等教育学校の前期課程における第2学年及び第3学年（第2学期までの記録に基づく）の9教科の学業成績の総計が5段階評価で72以上の者（9教科の平均が4.0以上）又は5教科（国語、社会、数学、理科、英語）の学業成績の総計が5段階評価で40以上の者（5教科の平均が4.0以上）
- (3) 合格した場合、入学を確約できる者

2. 学力検査による選抜

入学を志願することができる者は、次のいずれかに該当する者としてします。

- (1) 中学校を卒業又は令和5年3月卒業見込みの者
- (2) 義務教育学校を卒業又は令和5年3月卒業見込みの者
- (3) 中等教育学校の前期課程を修了又は令和5年3月修了見込みの者
- (4) 外国において、学校教育における9年の課程を修了した者
- (5) 文部科学大臣が中学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者又は令和5年3月修了見込みの者

- (6) 文部科学大臣の指定した者
- (7) 就学義務猶予免除者等の中学校卒業程度認定規則（昭和41年文部省令第36号）により、中学校を卒業した者と同等以上の学力があると認定された者
- (8) その他相当年齢に達し、本校が中学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

V. 出願手続

1. 出願期間

区分	WEB出願 エントリー期間	出願書類 受付期間	受付時間	郵送の場合の 消印有効期日	留意事項
推薦による 選抜	令和4年 12月1日(木) ～令和5年 1月11日(水)	令和5年 1月4日(水) ～1月11日(水)	土日祝日を除く 9:00～16:30	1月10日(火)	郵送の場合は、書留にして「推薦入学願書」と朱書してください。
学力検査に よる選抜	令和4年 12月1日(木) ～令和5年 1月20日(金)	令和5年 1月16日(月) ～1月20日(金)		1月19日(木)	郵送の場合は、書留にして「学力入学願書」と朱書してください。

2. 出願について

出願手続については、志願者による「WEB出願サイト」での出願事前手続の後、在籍中学校等経由等で、出願に必要なすべての書類が本校に受理されたことをもって、出願手続完了となります。

志願者は出願前の手続として、「WEB出願サイト」上でユーザ登録を行う必要があります。ユーザ登録を行うことによって、「WEB出願サイト」上で、入学願書および受験票・写真票の作成・印刷などの出願事前手続を行うことができます。また、検定料の支払いも「WEB出願サイト」上で行うことになります。

本校ホームページの「WEB出願エントリー説明書」を参考にエントリーしてください。

3. 出願手順

(1)WEB出願エントリー

①WEB 出願サイトへのアクセス

本校ホームページにURLを掲載します。パソコン・スマートフォン・タブレット端末のいずれかをご利用ください。WEB出願を行う環境がない場合は在籍中学校等又は本校へご相談ください。

②ユーザ登録

メールアドレスをIDとして登録してください。登録を完了すると登録完了メールが送信されます。事前に「@e-shiharai.net」からのメールを受信できるように迷惑メールの設定を確認しておいてください。メールが届かない場合は、サポートセンターにお問い合わせください。

③出願情報登録

WEB出願エントリー期間は推薦による選抜・学力検査による選抜とも、令和4年12月1日（木）から開始です。余裕を持って手続きを開始してください。

④申込内容の確認

入力した内容を確認した後は「保存して中断する」を選択して入力内容を保存します。この時点では「お支払い画面へ」は選択しないでください。マイページの「申込確認」から「申込内容確認書」を出力し、保護者と中学校等に確認してもらってください。

⑤検定料支払処理

出願内容の確認が終了後、マイページの「続きから」から「お支払い画面へ」を選択してください。検定料の納付はクレジットカード、コンビニエンスストア、金融機関ATM（ペイジー）をご利用ください。なお、納付には別途手数料がかかります（ご本人負担）。

⑥受験票の作成，印刷

受験票は提出の必要はありません。試験当日に持参してください。

⑦写真票の作成，印刷

写真票は写真データをアップロードして印刷するか、印刷した写真票に写真を貼付して提出してください。

(2)出願書類提出

在籍中学校等を経由して、必要な書類を持参又は郵送にて提出してください。（次項5.）

4. 提出先

徳山工業高等専門学校学生課教務係

〒745-8585 山口県周南市学園台 TEL0834-29-6233

5. 出願手続及び出願書類

出願書類は、下表の各選抜の「○」の付いたものです。出身学校で取りまとめて提出してください。ただし、「学力検査による選抜」において、出願資格の(4)及び(6)～(8)に該当する者並びに(1)～(3)及び(5)に定める教育機関を卒業又は修了した者は、志願者本人が提出してください。

出願書類	推薦による選抜	学力検査による選抜	留意事項
① 入学願書	○	○※2	「WEB出願サイト」上で必要事項を入力してください。「WEB出願サイト」上での検定料支払をもって、提出したものとして取り扱いますので、紙媒体での提出は不要です。 いずれの選抜も出願後の志望学科の変更は認めません。「推薦による選抜」の志望学科は第一志望のみとします。ただし、合格内定とならなかった時に「学力検査による選抜」の受験をする場合に備えて、第二志望まで入力できます。「学力検査による選抜」の第二志望は欠員補充を行う際に考慮します。

② 写真票	○	○※2	「WEB出願サイト」でダウンロードしたものを印刷し,③の受験票と切り離してください。写真をアップロードしない場合は,写真(出願前3か月以内に撮影したタテ4.5cm ヨコ3.5cmカラー写真とし,無背景・無帽かつ正面上半身のものとし)を貼付してください。 学力検査において最寄り地等受験制度の利用を希望する場合は,事前に本校に相談した上で,WEB出願画面で受験地選択時に「最寄り地等」を選択し,機構ホームページの「会場一覧」を参照して入学願書や受験票・写真票に,事前相談の結果受け入れ可となった会場の「会場番号,会場略称」を記載してください。
③ 受験票	○	○※2	「WEB出願サイト」上で必要事項を入力してください。「WEB出願サイト」上での検定料支払をもって,提出したものとして取り扱いますので,<u>紙媒体での提出は不要です。</u> 学力検査において最寄り地等受験制度の利用を希望する場合は,事前に本校に相談した上で,WEB出願画面で受験地選択時に「最寄り地等」を選択し,機構ホームページの「会場一覧」を参照して入学願書や受験票・写真票に,事前相談の結果受け入れ可となった会場の「会場番号,会場略称」を記載してください。なお,受験票は試験当日に持参していただきますので,大切に保管してください。
④ 推薦書 ※1	○	—	本校所定の用紙に在籍学校長が必要事項を記入してください。
⑤ 調査書 ※1	○	○※2,3	本校所定の用紙に在籍(出身)学校長が必要事項を記入してください。裏面の「記入上の注意」をご確認ください。中学校卒業後一定の期間を経過し,出身中学校長が調査書を発行できない場合は,令和4年11月30日(水)までに,本校にご連絡ください。
⑥ 学習及び行動の記録一覧表	—	○※3	令和5年度山口県公立高等学校入学者選抜実施要領に準じて在籍学校長が作成したもの(1学校1部提出してください。)第3学年の第2学期までの記録に基づき作成してください。なお,既卒者については,提出の必要はありません。
⑦ 検定料	○	○※2	16,500円を「WEB出願サイト」で支払処理をしてください。災害救助法適用地域における災害で被害を受けた受験生への特別措置については,巻末をご覧ください。

※1 ④推薦書及び⑤調査書の電子媒体様式が, 本校ウェブサイトよりダウンロードできます。(学校で保存している過去の様式を使用しないでください。)

<https://www.tokuyama.ac.jp/exam/info/shiryou.html>

※2 「推薦による選抜」の結果,合格内定とならなかった者は①入学願書・②写真票・③受験

票，⑤調査書，⑦検定料を再提出・再登録・再納付する必要はありません。（次項7.）

※3 「学力検査による選抜」志願者に係る⑤調査書及び⑥学習及び行動の記録一覧表は、令和5年1月27日(金)までに提出してください。

注意 中等教育学校の前期課程を修了又は令和5年3月修了見込みの者は、履修証明書及び成績証明書を提出してください。

6. 調査書等活用における新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた配慮事項

入学者選抜における調査書及び推薦書の活用については、令和2年度に中学校等で臨時休業が実施されたことや各種行事及び大会が行われなかったことを踏まえ、特定の入学志願者に、出席日数やクラブ活動の内容等の記載により不利益が生じないようにします。

7. 「推薦による選抜」に合格内定とならなかった者の学力検査による選抜

「推薦による選抜」の結果、合格内定とならなかった者は、「学力検査による選抜」を受験することができます。再度出願や検定料を納める必要はありません。受験票は「推薦による選抜」のものを引き続き使用します。

在籍学校長は、「学力検査による選抜」のみを受験する者と併せて「学習及び行動の記録一覧表」を作成し、所定の期日までに提出してください。（前項5. ※3）

その他の出願書類は再提出する必要はありません。

8. 出願上の注意事項

(1) 出願書類に事実と反する記載があった場合は、合格させないことがあります。また、合格発表後に判明した場合は、合格を取り消すこと、入学後に判明した場合は、入学許可を取り消すことがあります。

(2) 受理した書類及び納付した検定料は返還しません。ただし、検定料については、次の場合は申し出により返還しますので、提出先に速やかにご連絡ください。

① WEB出願エントリーにて検定料を納付したが出願書類を提出しなかった、又は出願書類が受理されなかった場合

② 検定料を重複して納付した場合

(3) 入学志願者から提出された入学願書や調査書等に記載されている情報及び選抜に用いた試験成績・評価といった入学者選抜を通じて取得した個人情報、入学者選抜の資料として利用するとともに、次の目的のためにも利用しますのであらかじめご了承ください。

① 入学後の教育・指導

② 入学料、授業料の免除申請の審査

③ 奨学金申請の審査

④ 本校及び国立高等専門学校全体の教育制度・入学者選抜制度の改善のための調査・研究

⑤ 同窓会、後援会等の案内

VI. 入学者選抜に関する合理的配慮の提供に関して

本校では、「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」、「文部科学省所管事業分野における障害を理由とする差別の解消の推進に関する対応指針」及び「独立行政法人国立高等専門学校機構における障害を理由とする差別の解消の推進に関する対応要領」に基づき、障害等による支援ニーズのある者に対して、受験上または修学上の合理的配慮の提供を行っています。

入学者選抜において障害等を理由とした合理的配慮の提供を希望する者は、早めに本校学生課までご相談ください。なお、合理的配慮の提供には準備に時間がかかることもあるため、出願期限の1か月前にあたる令和4年12月12日（月）（推薦による選抜）又は令和4年12月21日（水）（学力検査による選抜）を過ぎてからの相談及び申請では準備期間が短くなり、希望する合理的配慮を受けられず、安心して試験を受けられなくなる可能性があることに注意してください。

必要に応じて、志願者、志願者の保護者及び在籍する学校関係者に対して、相談された内容について質問する場合がありますが、合理的配慮に関する申請及び問い合わせ内容は入学者選抜の可否判定には一切影響ありません。

入試の公平性を担保するため、合理的配慮提供の根拠となる資料の提出を求める場合があります。必要となる根拠資料に関しては、文部科学省「障害のある学生の修学支援に関する検討会報告（第二次まとめ）」によって示されている、1) 障害者手帳の種別・等級・区分認定、2) 適切な医学的診断基準に基づいた診断書、3) 標準化された心理検査等の結果、4) 専門家の所見、5) 中学校、特別支援学校中等部等入学前の支援状況に関する資料、6) 本人が自らの障害の状況を客観的に把握・分析した説明資料等が該当します。

※ 根拠資料に関しては提出の要否に関しても本校学生課までご相談ください。ご提出いただく根拠資料としての要件を満たしているかどうか、本校で確認します。満たしていない場合は、その理由を明示したうえで再提出を求めることがあります。

（お願い）

入学後に修学上の合理的配慮が必要な場合には、合理的配慮提供のための準備を十分に行うために、出願前の可能な限り早い段階で「事前相談」を受けられることをお勧めします。選抜後、または入学後に合理的配慮に関して初めて申請なされると、修学に必要な支援を十分に受けられなくなる可能性があります。なお、事前相談を受けられても、入学者選抜の可否判定には一切影響ありません。

相談窓口 学生課教務係 (TEL) 0834-29-6233
(FAX) 0834-29-6161 (Mail) kyoumu@tokuyama.ac.jp

VII. 選抜日程

区分	選抜日	集合時間	時間※ ²	科目等	検査会場
推薦による選抜	令和5年 1月21日(土)	Aグループ※ ¹ 8:40 集合	9:00～11:50	面接	○本校
			12:10～13:10	作文	
		Bグループ※ ¹ 11:00 集合	11:40～12:40	作文	
			13:00～	面接	
学力検査による選抜	令和5年 2月12日(日)	8:40～9:00 入室	9:30～10:20	理科	○本校※ ³ ○最寄り地等※ ⁴
			10:50～11:40	英語	
			12:10～13:00	数学	
			13:50～14:40	国語	
			15:10～16:00	社会	

※1 「推薦による選抜」は、受験者をA、Bの2つに分けて検査を行います。本校が振り分け、在籍学校に通知します。

※2 不測の事態が発生し、予定時刻に開始することが不適当と判断した場合は、時間を繰り下げることがあります。

※3-1 室内履きは必要ありません。

※3-2 令和5年度入学者選抜においては、本校の学力検査実施体制が新型コロナウイルス感染症対策を十分に確保できないため、岩国検査会場は中止します。

※4 「学力検査による選抜」における最寄り地等受験制度について

国立高等専門学校機構では、「学力検査による選抜」において、出願する高専に関係なく、全国にある51の国立高等専門学校とその他設置している検査会場のどこでも受験が可能な『最寄り地等受験制度』を導入しています。受験生は本校が設置する検査会場以外に、機構ホームページの『最寄り地等受験制度 会場一覧』から、受験したい検査会場を希望することができます。

ただし、検査会場の収容人数等の都合で必ずしも希望に添えないこともありますので、本校以外の検査会場で受験を希望する受験生は、本校まで、必ず事前の相談をお願いします。

【事前相談問い合わせ先】

窓 口：徳山工業高等専門学校学生課教務係

電 話：0834-29-6233

相談期間：令和4年11月1日（火）～令和5年1月19日（木）

最寄り地等受験制度 会場一覧掲載先（機構ホームページ）

各会場の受け入れ状況を随時更新します。

： <https://www.kosen-k.go.jp/exam/admissions/index.html>

本校の「主たる受験地」：徳山高専



※「推薦による選抜」は、本制度の対象外です。

※事前相談期間締切後については、原則受け付けません。

（機構ホームページ）

Ⅷ. 「推薦による選抜」結果の通知及び入学確約書の提出

「推薦による選抜」結果の通知日，方法等は以下のとおりです。

1. 通知日

令和5年1月26日(木)

2. 方法等

郵送で在籍学校に通知（通知日発送）し，あわせて合格内定者には合格内定通知書を，在籍学校を通じて交付します。

在籍学校長又はその委任を受けた教職員が希望する場合に限り，本校学生課で通知を配付します（午前10時から午後2時まで）。配付を希望する学校は，必ず事前に本校学生課までご連絡ください。（受取には学校長委任状，身分証明書が必要です）。

なお，電話等による選抜結果の問い合わせには，一切応じません。

3. 入学確約書の提出

合格内定通知を受けた者は，令和5年2月3日(金)【必着】までに，入学確約書（合格内定通知書と併せて送付します。）を提出してください。期限までに提出がない場合は，入学の意志がないものとして合格内定を取り消します。

Ⅸ. 合格者の発表

合格者の発表日時，方法等は以下のとおりです。

1. 日時

令和5年3月2日(木) 午前10時

2. 方法等

「推薦による選抜」及び「学力検査による選抜」合格者の受験番号を本校校内に掲示するとともに，本校ホームページに掲載します。

また，郵送（発表日発送）で在籍（出身）学校を通じて，合格者に通知します。ただし，「学力検査による選抜」における出願資格の(4)及び(6)～(8)に該当する者と(1)～(3)及び(5)に定める教育機関を卒業又は修了した者には，直接本人に通知します。

在籍（出身）学校長又はその委任を受けた教職員が希望する場合に限り，本校学生課で通知を配付します（午前10時から午後2時まで）。配付を希望する学校は，必ず事前に本校学生課までご連絡ください。（受取には学校長委任状，身分証明書が必要です）。

なお，電話等による問い合わせには，一切応じません。

本校ホームページへの掲載は，合格者の発表日から1週間とします。

URL <https://www2.tokuyama.ac.jp/gouhi/>

X. 入学確定者名簿の提出

合格者の出身中学校長は，合格者の入学意志を確認の上，入学確定者名簿を令和5年3月16日(木)までに提出してください。

XI. 新入生修学指導説明会

入学者を対象に修学指導を行うための説明会を令和5年3月21日（火・祝）13時30分から（受付12時30分から），本校で開催します。この場で，入学手続きも行うため，入学者

は必ず出席してください。説明会の案内及び入学手続きは、合格通知に同封します。

なお、新型コロナウイルス感染状況を鑑み、開催方法を変更することがあります。

XII. 学力検査成績の開示について

開示を希望する者は、学力検査成績開示申請書（ホームページに掲載）に必要事項を記入のうえ、受験票を添えて学生課窓口又は郵送で申請してください。開示は、受験者本人からの申請に限ります。

詳細は本校ホームページを参照してください。

URL <https://www.tokuyama.ac.jp/exam/info/kaiji.html>

XIII. 事務電算上の印刷書体について

入学者選抜事務では、電算処理する関係上、JIS 漢字コードに則した字体で保管し、各種通知を印刷します。JIS に定められていない漢字を氏名に持つ受験者については、WEB出願時にチェック項目にチェックを付けてください。また、印刷時に本当の字体と異なる場合がありますが、あらかじめご了承ください。

XIV. 追試験

1. 追試験の対象者

令和5年度入学者選抜に出願した者について、次のいずれかにあてはまる場合は、「推薦による選抜」もしくは「学力検査による選抜」の追試験を受験することができます。

- (1) 学校保健安全法施行規則（昭和三十三年文部省令第十八号）第十八条に定める感染症に罹患、又は罹患している疑いがあり、各選抜の本試験を受験できない者で、本試験当日の集合時間（推薦Aは8時40分、推薦Bは11時、学力は9時。）までに本校に申し出た上で、追試験の受験意志を表明した者。
- (2) (1)を除く、受験者自身の責めに帰することができない理由で本試験を受験できず、本試験当日の集合時間までに本校に申し出た上で、追試験の受験意志を表明した者で、校長がその申請を認めた者。

また、受験することのできる追試験の区分は次のとおりです。

受験できなかった本試験名		受験対象となる追試験名
「推薦による選抜」の本試験	→	「推薦による選抜」の追試験
「学力検査による選抜」の本試験	→	「学力検査による選抜」の追試験

なお、追試験の受験を希望する場合は、医療機関等（場合によっては、保健所等にご相談ください）又は中学校等の学校長による証明書等を必ず当日まで、もしくは後日提出してください。

追試験の受験にあたっては、再度出願や調査書等の提出、検定料を納める必要はありません。

2. 追試験の日程

区分	選抜日・集合時間	時間 ※1	科目等	検査会場
推薦による 選抜	令和5年 2月4日(土) 11:00 集合	11:40～12:40	作文	○ 本校
		13:00～	面接	
学力検査に よる選抜	令和5年 2月26日(日) 8:40～9:00 入室	9:30～10:20	理科	○ 本校
		10:50～11:40	英語	
		12:10～13:00	数学	
		13:50～14:40	国語	
		15:10～16:00	社会	

※1 不測の事態が発生し、予定時刻に開始することが不適当と判断した場合は、時間を繰り下げることがあります。

※ 検査会場には室内履きは必要ありません。

3. 合格者の発表

合格者の発表日時は以下のとおりです。なお、方法については、本試験と同様に行います。

- ・「推薦による選抜」 通知日 令和5年2月8日(水)
- ・「学力検査による選抜」 発表日 令和5年3月2日(木) 午前10時

4. 入学確約書の提出

「推薦による選抜」の追試験を受験し、合格内定通知を受けた者は、令和5年2月13日(月)【必着】までに、入学確約書を提出してください。期限までに提出がない場合は、入学の意志がないものとして合格内定を取り消します。

5. その他

「推薦による選抜」の追試験受験対象者がいる場合は、「学習及び行動の記録一覧表」の提出時に、追試験受験対象者も含めて（その者が分かるように印を付した上で）提出してください。

徳山工業高等専門学校入学案内

1. 本校の概要

本校は、「技術を愛する人物、人々から信頼される人物を育くみ、広く社会の安全と人々の幸福に寄与する」という建学の理念のもと、5年間の一貫したきめ細やかな講義、演習、実験・実習や課題発見・解決型授業などを通して、専門分野の基礎から応用までの知識や技術などに裏付けされた実践力、創造力やコミュニケーション力などを身につけるための教育を行っています。

卒業生には「準学士」の称号が与えられます。

また、平成15年度から本校における「設計情報工学」プログラムが、国際的に通用する技術者教育プログラムとして、日本技術者教育認定機構（JABEE）より認定されました。

JABEE 認定に関する詳細は、本校ホームページをご覧ください。

U R L <https://www.tokuyama.ac.jp/school/whats/jabee.html>

2. 育成しようとする技術者像

本校では「情報技術をベースに、それぞれ得意とする複合技術を生かして、技術的課題を解決できる技術者」を育成することをめざしています。

3. 学習・教育目標並びに本科における具体的到達目標

「世界に通用する実践力のある開発型技術者をめざす人材の育成」

(A)「世界に通用する」技術者をめざすために

(A1) 複合分野の基礎となる基本的素養を身につけること

○ 数学・自然科学・基礎工学の科目を修得する

(A2) 国際理解を深め、技術者としての倫理観とコミュニケーション能力を養うこと

○ 国際文化・技術者倫理・日本語・外国語の科目を修得する

○ 自らの目標を定め、外部試験を活用して英語力のステップアップを図る

(B)「実践力のある」技術者をめざすために

(B1) 情報技術をベースに実体験を通して表現力を身につけること

○ 情報関連・実験の科目を修得する

(B2) 自主性と自立性を養うこと

○ 卒業研究の科目を修得する

(C)「開発型」技術者をめざすために

(C1) 複合分野にわたる知識を有機的に結びつける設計能力を身につけること

○ メカトロ技術・情報電子技術・社会環境整備技術のうち、ひとつの分野の定められた科目を修得する

(C2) 課題を把握し解決する力を身につけ、感性・創造性を磨き養うこと

○ 創造系の科目を修得する

○ 創造演習発表会、卒業研究発表会などで発表を行う

4. 学科案内

本校は、次の3学科から構成され、いずれも複合学科です。
各学科の概要は次のとおりです。

機械電気工学科

得意とする複合技術：メカトロ技術

「コンピュータで制御する機械を設計・製作する技術」

現代のあらゆる産業分野で活躍しているさまざまな機械は、そのほとんどがコンピュータで制御されるようになっていきます。

本学科では、このようないわゆるメカトロニクス技術に対応できる技術者の養成をめざしており、そのため、機械の分野ばかりでなく電気・制御・情報に関する知識を修得できるようにカリキュラムが編成されています。

また、実践的で応用力のある技術者を育成するため、低学年から3次元CADによる製図、コンピュータによる演習、自律型ロボットの製作などの実習、さらに各種資格試験にも関連する実践的授業が行われています。

情報電子工学科

得意とする複合技術：情報電子技術

「コンピュータ技術をベースに電子情報通信システムを設計・構築する技術」

近年、コンピュータ技術の応用分野は飛躍的に拡大、多様化してきており、高度情報化社会を担う情報処理技術者が求められています。

本学科では、電子工学分野と情報工学分野をバランスよく学習することにより、コンピュータのハードウェア技術及びソフトウェア技術を身につけ、これらの技術を活かして情報処理システム、通信情報システム、コンピュータ応用機器システムなどの設計・構築、更にはインターネットなどネットワークシステムの設計・構築に従事できる高度なコンピュータシステム技術者をめざします。

土木建築工学科

得意とする複合技術：社会環境整備技術

「情報技術を活用し社会基盤や建築空間を設計・施工する技術」

人類の生活を根底から支える土木工学と建築学を学ぶことは、持続可能な社会形成のためにも今後ますます重要となります。

本学科では、本科3年生まで土木工学と建築学を複合的に学び、4・5年生では「土木コース」と「建築コース」のいずれかを選択し、各コースの必修科目をベースに応用的な選択科目を履修していきます。土木・建築どちらのコースにおいても本学科卒業時に「測量士補」の資格が得られ、実務経験3年で「測量士」の資格が得られます。また、建築コースでは建築士受験のための指定科目を修得することで、本学科卒業後、「二級

建築士」及び「一級建築士」の受験資格が得られます（ただし、一級建築士の登録には試験合格後4年の実務経験が必要です。）。

※令和4年度入学生から適用

一般科目

一般科目は、広い視野をもったすぐれた技術者を育てるため、豊かな教養を身につけること及び専門の知識や技術を習得するための学問的基礎を養うことを目的としています。1～5年の全授業時間数の約半数がこれに充てられています。低学年の授業は、一般科目が主となりますが、学年が進むにつれて一般科目は減少し専門科目が増加します。

5. 教育課程

授業科目は、各学科に共通の一般科目と学科ごとに異なる専門科目に分かれて開設されており、所要の科目を5年間で学びます。

詳しくは19、20頁教育課程を参考にしてください。

6. 入学時に要する諸経費

区分		金額
入学料		84,600円
授業料（注）	前期分	117,300円
日本スポーツ振興センター掛金	年額	1,550円
学生会入会金		1,000円
学生会費	年額	4,000円
教科書代	(学科により異なる)	約85,000～ 110,000円
体育衣等		
実習服等		
製図用具、マイコンボード等		
その他		

(注) 入学時及び在学中に授業料改定が行われた場合は、改定時から新授業料が適用されます。また、高等学校等就学支援金制度の適用があります。次ページを参照してください。

入学料及び授業料の納入について

入学料は、令和5年3月20日(月)までに納めてください。なお、納入済みの入学料は返還しません。

授業料の納入方法については、合格通知に併せて後日通知します。

携帯情報機器の持込みについて

本校では令和2年度より学生個人の携帯情報機器（PC（パソコン）、タブレット端末、スマートフォン等）を授業等で使用しています。

授業科目の担当教員の指示・許可のもと、授業ノートやレポートの作成や、学業に必要な情報検索などにPC等を積極的に活用することを推奨しています。そのためのWi-Fi環境※も校内に整備されています。

なお、入学後、学科別に、指定された学年の段階で、所定の仕様を満たしたPC等を準

備してください。入学確定後、学科別に、授業に必要なPC等の詳細をお知らせします。また、感染症や災害の発生等の非常時における特例的な措置として遠隔授業を実施しますので、ご家庭においてインターネット環境を整備してください。

※ Wi-Fi（ワイファイ）環境：

PC等を無線でネットワークに接続してインターネット等を利用するための環境

7. 入学科・授業料減免制度、高等学校等就学支援金制度及び奨学金制度

(1) 入学科・授業料減免制度

新入生のうち一定の基準を満たす学生は、入学科が免除もしくは徴収猶予されることがあります。

1年生から3年生までの学生で、規則で定められている特別な事情により、授業料の納付が著しく困難であると認められる者に対し、授業料が免除されることがあります。また、4年生以上の学生は高等教育の修学支援新制度により、一定の家計基準を満たし、学修意欲があると認められる者については、授業料等が免除もしくは減額されることがあります。

(2) 高等学校等就学支援金制度

全ての意志ある高校生等が安心して勉学に打ち込める社会をつくるため、国の費用により、学生の授業料に充てる高等学校等就学支援金を支給し、家庭の教育費負担を軽減するものです。

国立高等専門学校（1～3年生）も本制度の対象になっており、授業料の支援として保護者等の所得が判定基準未満の世帯に「就学支援金」が支給されます。

(3) 奨学金制度

学業、人物ともにすぐれ、経済的理由により修学が困難と認められる者に対して、選考のうえ日本学生支援機構や、その他の団体などから奨学金が貸与又は給付されます。

① 日本学生支援機構の奨学生として採用を希望する者は、入学後に出願することになります。詳細は日本学生支援機構のホームページをご覧ください。

② その他の奨学金制度として、「山口県ひとづくり財団」や各自治体などのものがあります。

8. 学寮

(1) 施設

冷暖房および全室 Wi-Fi 完備の学寮「高城寮」（男子定員120名、女子定員31名（外国人留学生を含む））があり、「自立の志が高い人」を受け入れています。充実した生活環境の中で勉学や課外活動にも集中でき、時間を有効に活用した学生生活を過ごすことができます。

(2) 入寮

入寮は書類（場合によっては面接）選考により、「入寮の目的、向学意欲、適性」を確認した上で受け入れを許可しています。

新型コロナウイルス感染症の拡大状況によっては、定員を100名程度まで減少させ全室一人部屋で運用する場合があります。その場合の入寮選考は上記の確認事項に加えて、学年・通学時間などを考慮します。

(3) 経費（令和4年度の場合）

寄宿料	月額	800円（1人部屋），700円（2人部屋）
食費（1日3食）	月額	約38,300円
寮費（光熱水費等）	月額	7,000円
空調機維持管理費	半期	3,000円
入寮費	入寮時	1,000円
寮生会費	年額	1,500円

9. 学生生活

本校では「自分で考え、行動し、しかも自分の行為に責任をもつ」という自主性の育成に教育の重点をおいています。

(1) 制服について

1～3年生は定められた制服を着用しなければなりません。4年生以上は制服以外の服装で通学してよいが、この場合の服装は本校の学生としての品位をそこなわないものでなければなりません。

(2) 通学について

自転車通学については、許可制になっています。3年生以下の学生は、自動車、自動二輪車及び原動機付自転車（原付バイク）を運転して通学することを原則として禁止しています。また、原則として道路交通法に規定する運転免許の取得を禁止しています。

ただし、4年生以上の学生については、一定の条件を満たした場合にバイク等の通学を許可しています。

10. 構内施設・課外活動

(1) 構内施設

学生が利用できる施設として、野球場、陸上競技場、体育館、武道場、テニスコート、プールなどの体育関係施設及び図書館、福利厚生センター、合宿研修施設、学生食堂などがあります。

(2) 学生会活動

本校には学生全員をもって構成する学生会があり、学生生活における集団活動への積極的参加、自発的な活動による自主性、人間形成の助長を目的として活動しています。

(3) クラブ活動

陸上競技部、バスケットボール部、バレーボール部、ソフトテニス部、卓球部、剣道部、水泳部、硬式野球部、サッカー部、バドミントン部、ハンドボール部、テニス部、アーチェリー部、ダンス同好会、女子ハンドボール同好会

総合文化部、音楽部、吹奏楽部、メカトロシステム部、ニューメディア部、茶道部、デザイン研究部、英語に親しむ同好会、アマチュア無線同好会

いずれも中国高専体育連盟及び全国高専連合会並びに山口県の各体育連盟、又は中国地区高専文化連盟に加入しています。

11. 卒業後の進路

学科 \ 年度	元		2		3	
	就職	進学	就職	進学	就職	進学
機械電気工学科	23	14(8)	22	16(9)	17	15(7)
情報電子工学科	22	19(14)	24	13(6)	29	12(5)
土木建築工学科	25	15(8)	23	20(11)	26	17(8)

() は本校専攻科への進学者数で内数

(1) 就職状況

過去3年の就職先は次のとおりです。

[機械電気工学科]

アイリスオーヤマ, アシックス, 宇部興産機械, NOK, NTT東日本グループ会社, NTTファシリティーズ中国, ENEOSホールディングス, 川崎重工業, 岐山化工機, 協和発酵バイオ, クボタ, 鋼鉄工業, JXTGエネルギー, シチズン時計マニユファクチャリング, 新明和工業, 水ing, 西部石油, ソニー・太陽, ダイキン工業, 武田薬品工業, 東海旅客鉄道, 東ソー, 東ソー・ハイテック, 東洋製罐, トクヤマ, 日鉄ステンレス, 日本ゼオン, HIVEC, パナソニックインダストリアルソリューションズ, パナソニックオートモーティブ, 日立交通テクノロジー, 日立産業制御ソリューションズ, 日立ハイテク, ヒロテック, 深江化成, 不二輸送機工業, 三菱ケミカルエンジニアリング, 三菱重工業, 三菱電機エンジニアリング, メタウォーター

[情報電子工学科]

アイテック阪急阪神, アスパーク, アトラス情報サービス, 宇部情報システム, NSウエスト, エヌ・ティ・ティ エムイー, NTTコムソリューションズ, NTTデータMSE, NTTデータフロンティア, ENEOS, エフ・ケー・シー, オプティム, 神田通信機, 九州NSソリューションズ, グリー, KDDIエンジニアリング, コベルコソフトサービス, サントリービール, GMOインターネット, 新立電機, ソニーLSIデザイン, 中国電力, 中国電力ネットワーク, テルモ山口, 東海旅客鉄道, 東京ガス, 東ソー情報システム, 東ソー・ハイテック, 東洋インキSCホールディングス, トクヤマ, トクヤマ情報サービス, トヨタシステムズ, ニコン, 日本精蠟, 日本放送協会, ネクストウェア, ハイマックス, パナソニックコネクティッドソリューションズ, パナソニックシステムソリューションズ ジャパン, 日立ハイテク, 日立ビルシステム, 日立プラントメカニクス, Phone Appli, 富士通, 富士通Japan, 富士通ゼネラル, 富士電機, 三菱重工業, 三菱電機エンジニアリング, ラック, 山口県警察

[土木建築工学科]

I.D.Works, アイリスオーヤマ, INPEX, 宇部建設コンサルタント, 宇部興産, NHKテクノロジー, エヌ・ティ・ティ・インフラネット, NTTファシリティーズ中国, ENEOS, 大林組, オリエンタルコンサルタンツ, 鹿島クレス, 車田建築設計事務所, 計測リサーチコンサルタント, 五洋建設, 笹戸建築事務所, シーエム・エンジニアリング, ショーボンド建設, 大日本土木, 大和リース, 竹中工務店, 巽設計コンサルタント, 中国電力, 中電技術コンサルタント, 東栄住宅, 東海旅客鉄道, 東京ガス, 東京都下水道サービス, 東ソー, トクヤマ, 西日本高速道路, 西日本高速道路エンジニアリング中国, 西日本旅客鉄道, 日本空港テクノ, 三井住友建設, メタウォーター, 洋林建設, LIXIL, 若築建設, 和田材木店, 国土交通省中国地方整備局, 山口県, 広島市役所, 岩国市役所, 周南市役所, 防府市役所

(2) 進学状況

卒業後さらに勉学を続けたい人は、大学（3年次編入学）又は高専の専攻科（修業年限2年）に進学することができます。

①大学編入学

高専の卒業生を数多く受け入れる長岡、豊橋両技術科学大学をはじめ、多数の国公私立大学が編入学制度を実施しています。

過去3年の編入学先は次のとおりです。

[機械電気工学科]

大阪大学、岡山大学、金沢大学、九州大学、京都工芸繊維大学、国立障害者リハビリテーションセンター学院、佐賀大学、千葉大学、東北大学、豊橋技術科学大学、北海道大学、横浜国立大学

[情報電子工学科]

秋田大学、九州工業大学、九州大学、千葉大学、筑波大学、東京大学、豊橋技術科学大学、専門学校HAL、広島市立大学、広島コンピュータ専門学校、北海道大学、山口大学

[土木建築工学科]

京都工芸繊維大学、近畿大学、熊本大学、島根大学、千葉大学、東京工業大学、東京大学、東京都立大学、豊橋技術科学大学、長岡技術科学大学、バンタンクリエイターアカデミー、広島大学、山口大学、横浜国立大学、立命館大学

②高専の専攻科

専攻科は現在、ほとんどの高専に設置されており、本校にも機械制御工学専攻、情報電子工学専攻、環境建設工学専攻からなる専攻科が設置されています。専攻科を修了し、一定の要件を満たした者には、国の機関である大学改革支援・学位授与機構から「学士」の学位が授与されます。

本校専攻科の過去3年の就職先は次のとおりです。

[機械制御工学専攻]

SGシステム、オムロン京都太陽、京都製作所、ソニーグローバルマニュファクチャリング&オペレーションズ、ダイハツ工業、テルモ、奈良機械製作所、日本飛行機、パナソニックコネクティッドソリューションズ、日立交通テクノロジー、日立ハイテク、三菱電機エンジニアリング

[情報電子工学専攻]

オリンパス、九州NSソリューションズ、システナ、JBCC、セイコーエプソン、東海旅客鉄道、東ソー情報システム、東ソー・ハイテック、トクヤマ、富士通、三菱電機エンジニアリング、ヤマハ

[環境建設工学専攻]

あおみ建設、エム・エムブリッジ、極東興和、ショーボンド建設、巽設計コンサルタント、西日本高速道路エンジニアリング中国、日本工営、前田道路、ラックランド、下松市役所、周南市役所

本校専攻科を終了した者は大学院へ進学する者もいます。過去3年の進学先は次のとおりです。

[機械制御工学専攻]

岡山大学大学院、九州工業大学大学院、九州大学大学院、慶應義塾大学大学院、東京都立大学大学院、奈良先端科学技術大学院大学、早稲田大学大学院

[情報電子工学専攻]

静岡大学大学院、東京大学大学院、東京都立大学大学院、奈良先端科学技術大学院大学、広島大学大学院、早稲田大学大学院、名古屋大学大学院

[環境建設工学専攻]

東京工業大学大学院、東京大学大学院、豊橋技術科学大学大学院

教育課程（令和4年度の教育課程に基づくものであり、今後、改正する場合があります。）

一般科目

※印は学則第14条第2項に定める単位を示す。

機械電気工学科

授業科目		単位数	学年別単位数					備考
			1年	2年	3年	4年	5年	
必修科目	国語総合Ⅰ	4	4					
	国語総合Ⅱ	4		2	2			
	歴史	4	2	2				
	倫理	2		2				
	政治・経済	2	2					
	哲学	2			2			
	数学ⅠA	3	3					
	数学ⅠB	3	3					
	数学ⅡA	3		3				
	数学ⅡB	3		3				
	数学ⅢA	2			2			
	数学ⅢB	2			2			
	※微分積分学Ⅰ	1				1		
	※微分積分学Ⅱ	1				1		
	※ベクトル解析	1				1		ME, IE
	※線形代数	1					1	CA
	ライフサイエンス・アースサイエンス	2	2					
	物理基礎Ⅰ	2	1	2				
	物理Ⅰ	2			2			
	物理Ⅱ	2			2			
	※応用物理	2				2		
	化学基礎	2	2					
	化学Ⅰ	1		1				
	化学Ⅱ	1		1				
	体育	8	2	2	2	2		
	保健	1	1					
	芸術	2		2				
	基礎英語Ⅲ	3	3					
	総合英語Ⅰ	4		4				
	総合英語ⅡR	2			2			
	総合英語ⅡW	1			1			
	総合英語演習Ⅰ	2				2		
	総合英語演習Ⅱ	1					1	
	英会話	3		1	1	1		
	履修単位計	77	25	25	16	10	9	ME, IE CA
選択科目	人文・社会	1				1		
	中国文学	1				1		
	歴史学	1					1	
	心理学	1					1	
	人文社会特講	2				1	1	
	外国語	3				2	1	
	ドイツ語	3						
	英語特別演習	1					1	
	中国語	3				2	1	
	※生物学	1				1		
	※物理化学	1				1		
	※自然科学特講	1				1		
	※応用解析学概論	3				3		
	※応用数物演習	1					1	
	開設単位計	20				13	7	
	履修単位計	5				3	2	
履修単位合計		82	25	25	16	13	3	ME, IE CA
特別活動		3	1	1	1			

ME: 機械電気工学科 IE: 情報電子工学科 CA: 土木建築工学科

授業科目		単位数	学年別単位数					備考
			1年	2年	3年	4年	5年	
必修科目	工作実習Ⅰ	2	2					
	工作実習Ⅱ	2		2				
	工学実験Ⅰ	1			1			当該学年までに修得
	工学セミナーⅠ	1				1		
	電気回路Ⅰ	1			1			
	電子回路Ⅰ	2			2			
	※電磁気学Ⅱ	2				2		
	※材料力学Ⅰ	1			1			卒業までに修得
	水力学Ⅰ	1			1			
	※熱力学Ⅱ	2				2		
	※工学実験Ⅱ	3				3		
	卒業研究	8					8	
	履修単位計	26	2	2	6	8	8	
必修科目	機械の基礎Ⅰ	1	1					
	電気の基礎Ⅰ	1	1					
	技術発達史論	1	1					
	知的財産権Ⅰ	1			1			
	※技術者倫理Ⅰ	1				1		
	工業英語Ⅰ	1			1			
	※工業英語Ⅱ	1					1	
	※関数論Ⅰ	1				1		
	※確率・統計Ⅰ	1				1		
	※フーリエ変換Ⅰ	1					1	
	コンピュータ基礎Ⅰ	1	1					
	プログラミング基礎Ⅱ	2		2				
	プログラミング応用Ⅰ	1			1			
	※数値計算Ⅰ	1					1	
	※電気回路Ⅱ	1				1		
	※電子回路Ⅱ	1				1		
	アクチュエータⅠ	1			1			
	※制御工学Ⅰ	1				1		
	※制御工学Ⅱ	2					2	
	※計測工学Ⅱ	2					2	
	加工学Ⅰ	1		1				
	機構学Ⅰ	1			1			
	工業力学Ⅰ	1			1			
	※機械力学Ⅰ	1				1		
	※機械力学Ⅱ	1					1	
	※計算力学Ⅰ	1					1	
	材料学Ⅰ	2			2			
	※材料学Ⅱ	1				1		
	※材料力学Ⅱ	2				2		
	※弾塑性論Ⅰ	1					1	
	※水力学Ⅱ	1				1		
	※熱機機関Ⅰ	1					1	
	※機械設計論Ⅰ	2				2		
	※機械設計論Ⅱ	1					1	
	基礎設計製図Ⅰ	2	2					
	基礎設計製図Ⅱ	2		2				
	設計製図Ⅰ	1			1			
	※設計製図Ⅱ	1				1		
	※設計製図Ⅲ	1					1	
	創造演習Ⅰ	1	1					
	創造演習Ⅱ	1			1			
	創造製作Ⅰ	2		2				
	コンピュータ制御Ⅱ	2			2			
	※創造製作Ⅱ	2				2		
	履修単位計	55	7	7	12	15	14	
選択科目	総合実地演習Ⅰ	1		1				
	総合実地演習Ⅱ	2		2				
	校外実習Ⅰ	1				1		
	校外実習Ⅱ	2				2		
	※環境リサイクル論Ⅰ	1					1	
	※一般物理Ⅰ	1					1	
	※機能材料Ⅰ	1					1	
	※ターボ機械Ⅰ	1					1	
	※伝熱工学Ⅰ	1					1	
	※有限要素法Ⅰ	1					1	
	※流体力学Ⅰ	1					1	
	※ベンチャービジネス論Ⅰ	1					1	
	※特別講義Ⅰ	1					1	
	※特別講義Ⅱ	1					1	
	開設単位計	16		3		3	10	
	履修単位計	5					5	
	履修単位合計	86	9	9	18	23	27	
一般科目履修単位合計		82	25	25	16	13	3	
専門科目履修単位合計		86	9	9	18	23	27	
合計		168	34	34	34	36	30	

情報電子工学科

授 業 科 目		単 位 数	学年別単位数					備 考
			1年	2年	3年	4年	5年	
必修科目	基礎電気回路	2	2					卒業までに修得
	基礎コンピュータ工学	2	2					
	コンピュータの基礎知識	1	1					
	基礎プログラミングⅠ	1	1					
	基礎プログラミングⅡ	1	1					
	基礎プログラミング演習	1	1					
	電子工学実験	4			4			
	※ コンピュータシステム実験	4				4		
	※ 創造演習	1				1		
	※ 創造製作	1					1	
必修科目	※ 電子情報通信システム実験	2					2	卒業までに修得
	卒業研究	10					10	
	履修単位計	30	8		4	5	13	
	電気数学	1		1				
	集合と論理	1		1				
	知的財産論	1			1			
	情報数学	2			2			
	※ フーリエ・ラプラス変換	1				1		
	確率	1			1			
	※ 統計	1				1		
必修科目	※ 情報理論	2				2		卒業までに修得
	※ デジタル信号処理	1					1	
	電磁気学	2				2		
	※ 数値解析	1					1	
	※ 情報システムと技術者倫理	1				1		
	電気回路	2		2				
	計測工学	2			2			
	アナログ回路	2			2			
	デジタル回路	2			2			
	※ 情報通信工学	2				2		
必修科目	※ デジタル回路応用	1				1		卒業までに修得
	コンピュータ演習	1	1					
	コンピュータ工学	2		2				
	プログラミング	2		2				
	プログラミング言語	1		1				
	コンピュータシステム概論	1			1			
	アルゴリズムとデータ構造	2			2			
	システムプログラミングⅠ	1			1			
	※ システムプログラミングⅡ	1				1		
	コンピュータアーキテクチャ	2				2		
必修科目	※ ソフトウェア工学	2				2		卒業までに修得
	※ データベース	2				2		
	※ オペレーティングシステムⅠ	1				1		
	※ オペレーティングシステムⅡ	1					1	
	※ ネットワークアーキテクチャ	1					1	
	※ 英語講義	2					2	
	※ 特別講義	1					1	
	履修単位計	51	1	9	14	19	8	
	※ 集積回路設計Ⅰ	2					2	集積回路設計Ⅰを履修していること
	※ 集積回路設計Ⅱ	1					1	
選択科目	※ 画像工学	2				2		
	※ 言語処理	2					2	
	※ オブジェクト指向プログラミング	1					1	
	※ コンピュータグラフィックス	2					2	
	※ 知的情報処理	2					2	
	※ システム数理工学	2					2	
	校外実習Ⅰ	1				1		
	校外実習Ⅱ	2				2		
	開設単位計	17				3	14	
	履修単位計	5					5	
履修単位合計		86	9	9	18	24	26	
一般科目履修単位合計		82	25	25	16	13	3	
専門科目履修単位合計		86	9	9	18	24	26	
合 計		168	34	34	34	37	29	

土木建築工学科

授 業 科 目		単 位 数	学年別単位数					備 考
			1年	2年	3年	4年	5年	
必修科目	測量実習	4		2	2			3学年までに修得
	工学デザイン基礎Ⅰ	2	2					
	工学デザイン基礎Ⅱ	2		2				
	工学デザイン基礎Ⅲ	2			2			
	基礎工学実験	2			2			
	力と変形	1	1					
	構造力学基礎	4		2	2			
	※ 環境工学	1				1		
	※ 技術者倫理	1					1	
	卒業研究	10					10	
必修科目	履修単位計	29	3	6	8	1	11	卒業までに修得
	※ 土工学デザインⅠ	2				2		
	※ 建築工学デザインⅠ	2				2		
	※ 土工学デザインⅡ	2					2	
	※ 建築工学デザインⅡ	2					2	
	※ 土木創造演習Ⅰ	2				1	1	
	※ 建築創造演習Ⅰ	2				1	1	
	※ 土木工学実験Ⅰ	1				1		
	※ 建築工学実験Ⅰ	1				1		
	※ 土木工学実験Ⅱ	1					1	
必修科目	※ 建築工学実験Ⅱ	1					1	いずれかを卒業までに修得
	※ 土木CAD応用Ⅰ	1				1		
	※ 建築CAD応用Ⅰ	1				1		
	開設単位計	18				10	8	
	履修単位計	9				5	4	
	※ 構造力学	2				2		
	※ 建築一般構造	1			1			
	※ 鉄筋コンクリート工学	4				4		
	※ 鋼構造学Ⅰ	1				1		
	※ 地盤工学基礎	2			2			
必修科目	※ 水理学基礎	2			2			卒業までに修得
	※ 建設材料	1	1					
	※ 建設先端材料	1					1	
	※ 西洋建築史	1			1			
	※ 建築デザイン概論	1	1					
	※ 建築計画Ⅰ	2			2			
	※ 都市計画Ⅰ	2				2		
	※ 建設マネジメント	1					1	
	※ 情報処理	5	2	1	2			
	※ C A D 基礎	1				1		
必修科目	※ 確率・統計	1				1		卒業までに修得
	※ 測量学Ⅰ	2	2					
	※ 測量学Ⅱ	2		2				
	履修単位計	32	6	3	10	11	2	
	※ プレストレストコンクリート工学	1					1	
	※ 鋼構造学Ⅱ	1					1	
	※ メンテナンス工学	1					1	
	※ 振動と耐震	1					1	
	※ 道路工学Ⅰ	1				1		
	※ 道路工学Ⅱ	1					1	
必修科目	※ 地盤工学	2				2		卒業までに修得
	※ 基礎構造学	1					1	
	※ 水理学	2				2		
	※ 河海工学Ⅰ	1				1		
	※ 河海工学Ⅱ	1					1	
	※ 水環境工学	1					1	
	※ 火薬学	1					1	
	※ 建築材料	1					1	
	※ 建築構造設計	2					2	
	※ 建築計画Ⅱ	2				2		
必修科目	※ 日本建築史	1				1		卒業までに修得
	※ 近代建築史	1				1		
	※ 建築環境工学	1				1		
	※ 建築環境工学演習	1					1	
	※ 建築設備	2					2	
	※ 土木法規	1					1	
	※ 建築法規	1					1	
	※ 土木施工法	1					1	
	※ 建築施工法	1				1		
	※ 応用プログラミング	1					1	
必修科目	※ 測量学特論	1					1	卒業までに修得
	※ 特別講義	1					1	
	※ 工学セミナー	1				1		
	※ 校外実習Ⅰ	1	1			1		
	※ 校外実習Ⅱ	2	2			2		
	開設単位計	37				16	21	
	履修単位計	16				7	9	
	履修単位合計	86	9	9	18	24	26	
一般科目履修単位合計		82	25	25	16	12	4	
専門科目履修単位合計		86	9	9	18	24	26	
合 計		168	34	34	34	36	30	

推 薦 書

令和 年 月 日

徳山工業高等専門学校長 殿

中学校名

学校長名

印

下記の者について、責任をもって推薦いたします。

志望学科	工 学 科	※ 受 験 番 号
ふりがな 氏 名		

推 薦 所 見		
1. 学習状況		4. 人物及び生活状況（特性をよく表している具体的事例など）
2. 特別活動における役割と活動状況、活動実績		
(1) 学級に係る活動	チェック欄	内容
学級委員長（これに相当する総務委員、学級委員含）		
その他		
(2) 学校全体に係る活動	チェック欄	内容
生徒会会長		
生徒会副会長・役員、生徒会委員長		
生徒会委員		
その他		
3. 部活動		6. 資格（英検、数検、漢検など）
	チェック欄	内容
部長・主将		7. 社会活動（部活動歴は「3.」に記入すること）
副部長・副主将、マネージャー等		
3年間継続		
その他		
	チェック欄	内容
国・県からの表彰		
市町村からの表彰		
ボランティア活動		
その他		

該当する「チェック欄」に○を付し、「内容」欄にその具体的な活動状況等を記載してください。
様式は本校ホームページからダウンロードすることができます。A4用紙（普通紙可）に印刷のうえ、提出してください。
綴じ込み用の2穴は不要です。

令和5年度 調査書

第一志望	工学科	一覧中の番号	—
第二志望	工学科	受験番号	※35 —

ふりがな 氏 名		性別		生年月日	平成	年	月	日生
		卒業年月	令和	年	月	中学校 卒業(修了)見込		

学習の 記 録 (5段階)	教 科	評定（5段階）			教 科	評定（5段階）		
		1 年	2 年	3 年		1 年	2 年	3 年
	国 語				音 楽			
	社 会				美 術			
	数 学				保健体育			
	理 科				技術家庭			
	英 語				4 教科の評定 合計 (b)			
	5教科の評定 合計 (a)				9 教科の評定 合計 (a) + (b)			
	2・3年の5教科の評定合計 (推薦選抜のみ記入)					2・3年の9教科の評定合計 (推薦選抜のみ記入)		
本校が第一志望校 (該当の場合○をつけてください)								

上記のとおり証明します。

令和 年 月 日

記載者

中学校長

印

(注) 裏面の記入上の注意を確認のこと

記入上の注意

1. ※印の欄は、記入しないでください。

様式は、本校ホームページからダウンロードすることができます。A4用紙（普通紙可）に印刷のうえ、提出してください。綴じ込み用の2穴は不要です。

2. 記入事項については、令和5年度公立高等学校入学者選抜実施要領に準じて作成してください。
3. 卒業見込みの者にあつては、第3学年の第2学期までの記録に基づき作成してください。
4. 第二志望学科のない者は、「第二志望」の欄に斜線を引いてください。推薦による選抜を志願する者で「第二志望」の欄に記入した者は、推薦による選抜の結果が合格内定とならず、学力検査による選抜を受験した場合に考慮します。
5. 「本校が第一志望校」の欄は、該当の場合のみ○をつけ、該当しない場合は空欄としてください。回答の内容は、志願者個人の可否判定には使用しません。本校は、高等学校との併願を認めていることから、適切な合格者数決定の参考としていますので、**正確な記入をお願いします**。
提出後、順位を変更したい場合は、速やかに本校学生課に連絡してください。

徳山高専への案内図

徳山駅前より防長交通バス運行（7番乗場）

推薦入試は土曜日に実施するので、下記の定期便が運行しています。

徳山駅（久米温泉口行）①→大学高専下②下車（所要約20分）→徳山高専③徒歩10分
学力入試当日は、徳山駅①から徳山高専③までの臨時バスを運行します。

事前に各中学校へ利用調査を行います。

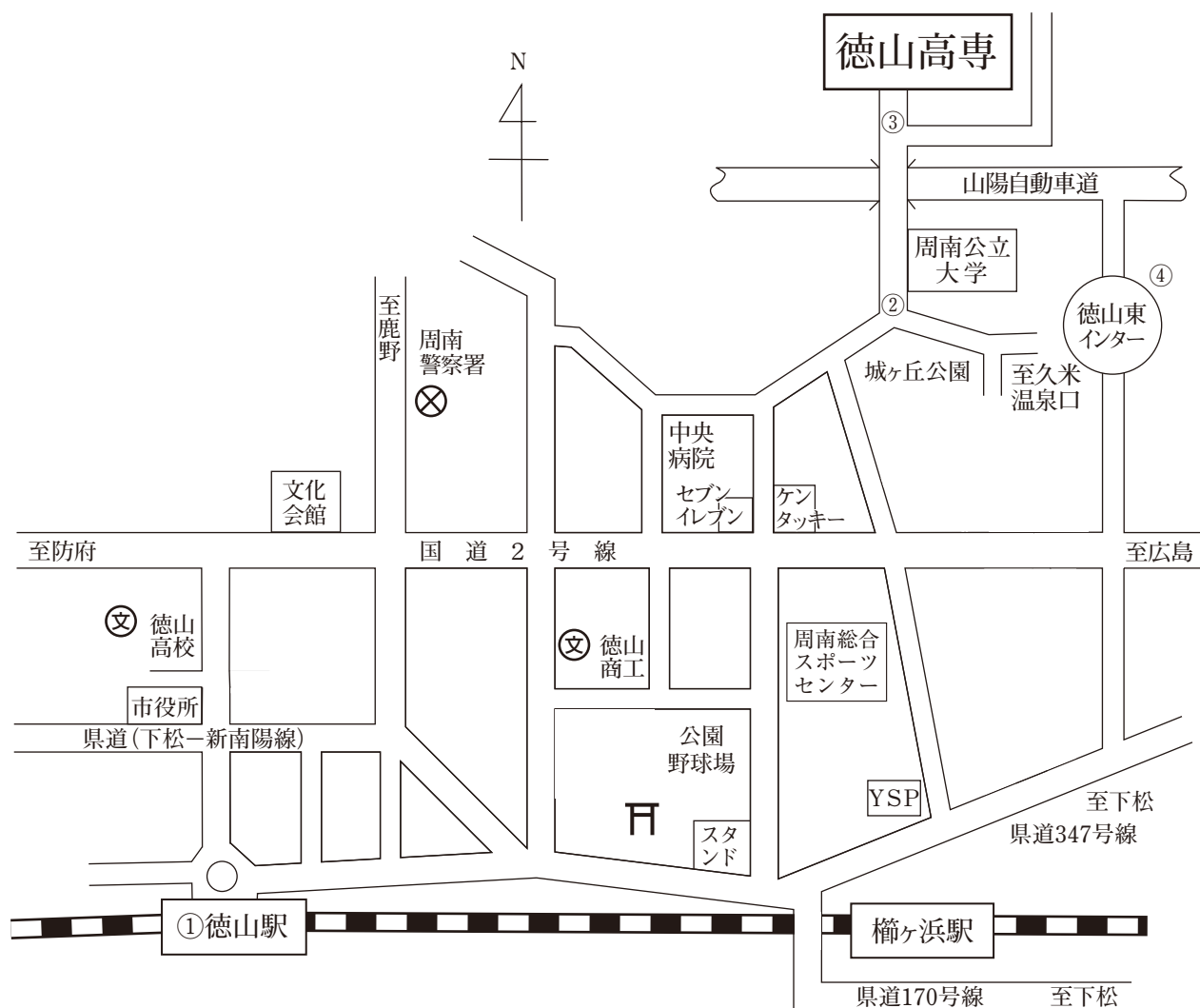
タクシー利用の場合

徳山駅より 約15分 1,800円程度

櫛ヶ浜駅より 約 8分 1,300円程度

山陽自動車道徳山東インター④から徳山高専③まで自動車で5分

※ ○番号は、地図の番号を指す。



災害救助法適用地域における災害で被害を受けた受験生への特別措置について

入学志願者のその主たる家計支持者が令和4年度に災害救助法適用地域に居住していて被災された場合には、検定料免除申請書に必要書類を添えて提出することで入学検定料が免除されます。

詳細は高専機構ホームページを参照してください。

高専機構 URL <https://www.kosen-k.go.jp/exam/admissions/>